

# 堺の観光施策について

令和3年4月22日（木）  
堺市 文化観光局長 宮前誠

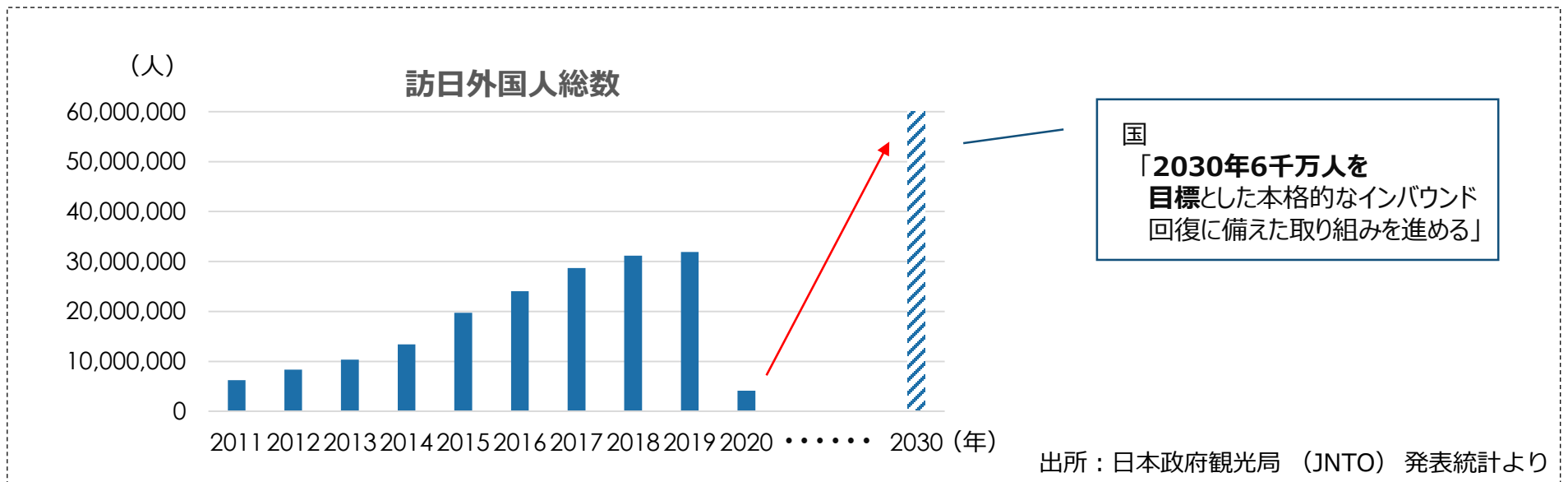
## 目 次

p.2	【堺観光戦略】	堺観光を取り巻く状況
p.3		現状から見る堺観光の課題
p.4		めざす姿・ミッション
p.5		戦略、KPI
p.6		取組の方向性① 重点エリア
p.7		取組の方向性② 市内周遊促進
p.8		「大仙公園エリア」の取組
p.9		「環濠エリア」の取組
p.10		楽しめる“環濠”の実現に向けて

## 1. 社会情勢の変化

### ◆新型コロナウイルス感染症 感染拡大

- ・ 国家間の移動（インバウンド）が大幅に減少
- ・ 新しい生活様式など、観光客受入環境が大幅に変化



## 2. 今後迎える好機

今後、大規模な国際的イベントが数年にわたり開催される。



※今後の社会情勢の変化等により、変更される可能性がある

## 1. 宿泊などの長時間滞在への対応

- ◆観光ビジター数＝増加傾向 ⇔ 市内ホテル宿泊者数＝ほぼ横ばい  
宿泊を伴わない日帰りの観光客が大勢を占める状況

観光による経済効果を高めるため、**宿泊等の長時間滞在や周遊促進に向けた取組が必要**

## 2. 世界遺産登録効果の波及への対応

- ◆誘客効果が大仙公園エリアに限定

**市内他エリアへの誘客、関西空港から他都市に向かう観光客の堺への誘客が必要**

## 3. 新型コロナウイルスへの対応

- ◆宿泊者数や観光関係施設の来館者数が大幅に減少
- ◆コロナ感染拡大以前の水準に戻るには時間を要する

**マイクロツーリズムなど市内、近隣の需要創出が必要**



**課題を解決し、持続可能な観光をめざすため、「堺観光戦略」を策定**

## 1. めざす姿

### 「人々を魅了し続ける屋根のないミュージアム”SACAY”」

点在する歴史文化の魅力を最大限に活用

➡4km×4kmの**広大なミュージアム**で来訪者をおもてなし

- ・ **大仙公園エリアと環濠エリアを重点エリア**とし、古墳や伝統産業などの価値や魅力を体感できるエリアとしてブランディング
- ・ 本物志向で質の高いサービス・コンテンツを多様な主体と創出し、磨き上げ、未来へ継承



## 2. ミッション

### 「訪れるたび新発見」

- ・ 何度訪れても**新たな魅力や興味を持ってもらえる施策**を官民一体で推進
- ・ 市民が改めて堺の魅力を知り、誇りを持っていただける取組を通じて、**来訪者の再訪意欲を高める**おもてなしを推進

## 1. 戦略

創る ~Create~	繋げる ~Connect~	続ける ~Continue~
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古代、中世の堺を体感できるエリアを “創る”</li> <li>・ 長時間滞在、周遊できるエリアを “創る”</li> <li>・ 堺ならではの新たなコンテンツを “創る”</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 快適に両エリア間を “繋げる”</li> <li>・ 重点エリアと市内各エリアを “繋げる”</li> <li>・ 大阪、関西の歴史文化、世界遺産を “繋げる”</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全・安心に観光できる取組を “続ける”</li> <li>・ 古墳群を次世代へ引き継ぐ取組を “続ける”</li> <li>・ 市民、事業者が主体となった観光を “続ける”</li> </ul>

## 2. KPI

量より**質を重視**した観光施策を推進し、地域経済に対する効果を高めることをめざし、**観光客の消費額単価、重点エリアへの来訪者数、堺へのリピート率**をKPIに設定

【KPI（2019年度実績 ▶ 2025年度目標値）】

観光消費額単価	エリア別来訪者数	リピート率
16,355円 ▶ <b>20,000円</b>	【大仙公園エリア】 29.4万人 ▶ <b>60万人</b> 【環濠エリア】 182.7万人 ▶ <b>300万人</b>	【大仙公園エリア】 22% ▶ <b>30%</b> 【環濠エリア】 36% ▶ <b>45%</b>

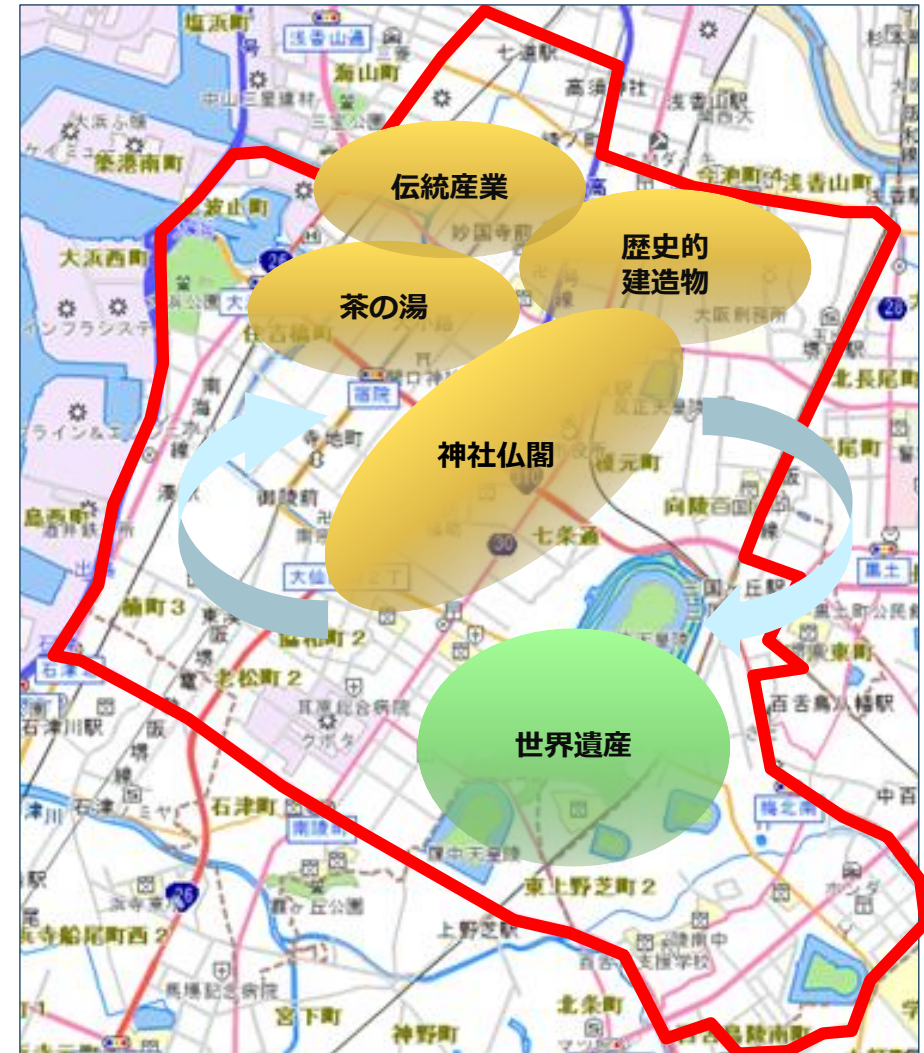


## ■ 歴史文化資源 × 観光

- ・ 歴史文化資源である古墳や環濠エリア、伝統産業などをテーマ別に分類
- ・ 各テーマやコンテンツの関連性・ストーリーを分かりやすく伝え、来訪者の周遊を促進

## ■ 重点エリア × 周遊

- ・ 点在する歴史文化資源を効率よく巡っていただくため、SNS等を活用し目的地への最適な移動手段を分かりやすく提案
- ・ MaaSや次世代モビリティなど新しい技術を活用して重点エリア内を快適に周遊



# 【堺観光戦略】取組の方向性②市内周遊促進

- 市内各エリアの特色を活かし、魅力をPR
- 市外の近隣自治体とも連携し、市内全域への誘客の流れを創出

## 歴史文化資源 × バイエリア

- ・ 海側の玄関口としての「昔」と「今」を対比

### <主な歴史文化資源>

旧堺燈台、大浜公園相撲場、工場夜景 等

## 歴史文化資源 × 伝統行事、街道

- ・ 「静」の神社仏閣と「動」の伝統行事を対比
- ・ 街道を通じた近隣自治体との相互送客

### <主な歴史文化資源>

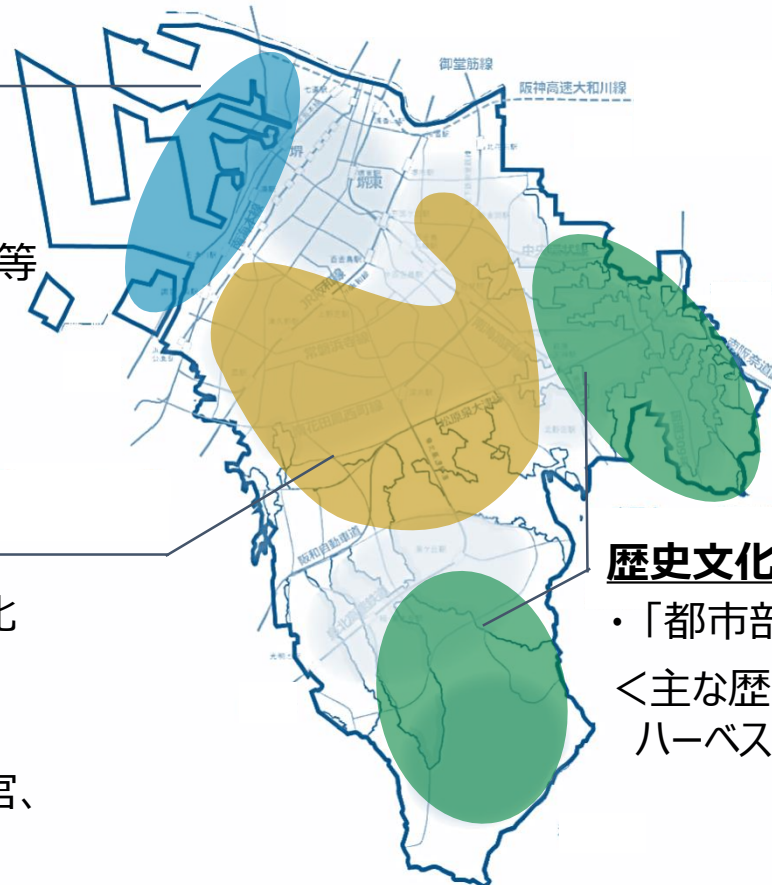
だんじり、ふとん太鼓、土塔、百舌鳥八幡宮、  
西高野街道、竹内街道、熊野街道 等

## 歴史文化資源 × 自然

- ・ 「都市部」と緑豊かな「自然」を対比

### <主な歴史文化資源>

ハーベストの丘、黒姫山古墳 等





# 【堺観光戦略】「大仙公園エリア」の取組

## ガス気球運行

百舌鳥古墳群を上空から眺望いただき  
雄大さを体感いただくためヘリウムガス気球を導入

### 古墳群全体を体感

#### 現状

- ・大仙公園内どら池南側において  
期間限定での設置を予定
- ・事業者が決定、気球設置に向けて整備開始

## 堺市博物館 展示リニューアル

古墳や世界遺産について  
知識を深められるよう  
実物や復元品による展示の充実など  
古代展示エリアのリニューアルを実施

#### 現状

- ・令和3年3月13日 リニューアル  
オープン

### 古墳群を学術的に解説

## 百舌鳥古墳群ビジターセンター運営

大仙公園エリアを来訪する全ての方のゲートウェイとなり  
あらゆる世代が古墳の魅力を体感できる施設として整備

#### 《施設概要》

- ・古墳群展示・観光案内・物販
- ・休憩スペース・デジタルコンテンツ

### 古墳群の入門施設

#### 現状

- ・令和3年3月13日 オープン

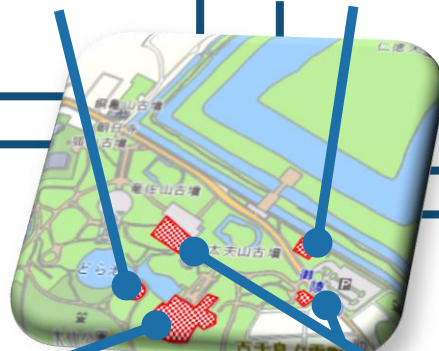


## 飲食・物販施設 整備・運営

来訪者や市民の皆さんが寛げるよう  
いこいの広場に飲食・物販施設、  
旧大仙公園事務所に飲食施設をそれぞれ整備

#### 現状

- ・令和3年3月25日 オープン  
(旧大仙公園事務所)
- ・令和4年春 オープン  
(いこいの広場)



# 【堺観光戦略】「環濠エリア」の取組

## 文化観光資源の活用

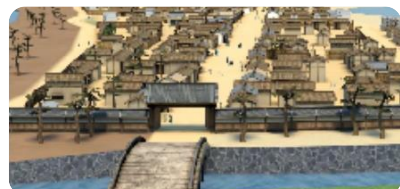
茶の湯、伝統産業などの堺の歴史・文化資源の商品化



立体映像で中世の環濠都市“堺”のまち並みや、千利休との茶の湯文化にふれるさかい利晶の杜でのVR体験

### 現状

・令和3年4月7日 VR体験開始



## 歴史的建築物の保全・活用

魅力的なエリアマネジメントによる来訪者の増加、誘客拠点としての核の創出をめざすため、歴史的建築物「町家歴史館」（清学院、山口家住宅）の保全と活用を推進し、「（仮称）鉄砲鍛冶屋敷ミュージアム」を整備



### 現状

・令和5年（仮称）鉄砲鍛冶屋敷ミュージアム オープン

## 新しい空間の創出

大小路、大道筋エリアにおける道路空間の将来を見据え、街歩きや自転車による周遊、賑わいを創造する新しい空間の創出

### 現状

・段階的な社会実験に取り組む



# 楽しめる“環濠”の実現に向けて

## 1. キーワード

歩行者が安全・快適に過ごせる

自転車利用者も安全な環境

まち歩きを楽しむ

オープンな空間

公民連携

大道筋、大小路が人中心なストリートデザイン

楽しめる“環濠”の実現に向けて、社会実験を段階的に実施

## 2. 段階的な社会実験

### STEP1

#### 新しい空間創出提案

- 新しい活用手法の提案
- 沿道住民等の理解促進

沿道住民、企業、団体による実施主体設立

### STEP2

#### 官民連携の空間活用

- 必要な機能の検討
- 官民連携での取組実施

空間再編に向けた  
広範囲な実証実験の準備

### STEP3

#### 活気ある空間実現

- 機能の多様化・高度化
- 広範囲での実証実験

将来を見据えた  
空間再編の提案

**ご清聴ありがとうございました。**